

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	日本史Ⅱ		
科目基礎情報							
科目番号	0056	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科	対象学年	1				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	山川出版『詳説日本史』						
担当教員	田淵 義英						
到達目標							
①歴史を学ぶ意義について理解している。 ②日本の古代から現代までの基礎的な歴史的事実を理解している。 ③歴史を知識ではなく解釈として理解することが出来る。 ④現代社会を理解するためのコンテクストとして歴史を理解することが出来る。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。				
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (D)							
教育方法等							
概要	古代から現代までを通史として学び、現代日本社会の「コンテクスト」として日本史を理解することが出来る能力を養う。						
授業の進め方・方法	中間試験は50分の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。定期試験60%、課題40%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。課題は、毎回該当範囲の「詳説日本史学習ノート」に取り組み、指定された期日に提出することとする。						
注意点	課題は上記以外にも適宜課することがある。講義の進捗によってテスト範囲がシラバスとずれることがあるので事前によく確認すること。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	近代国家の成立①	開国と明治維新			
		2週	近代国家の成立②	自由民権運動と立憲政治			
		3週	近代国家の成立③	日清・日露戦争			
		4週	世界大戦①	第一次世界大戦とワシントン体制			
		5週	世界大戦②	大正デモクラシー			
		6週	世界大戦③	世界恐慌と満州事変			
		7週	世界大戦④	太平洋戦争			
		8週	中間試験	中間試験			
	4thQ	9週	現代の日本①	占領下の日本			
		10週	現代の日本②	占領政策の転換と冷戦構造			
		11週	現代の日本③	日本の独立と安保条約			
		12週	現代の日本④	高度成長の時代			
		13週	現代の日本⑤	冷戦の終結と55年体制の終焉			
		14週	現代の日本⑥	変化の中で			
		15週	総括	後期期末試験解答用紙の返却と解説			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0